

⑧ 「実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
総合科目「はじめてのデータサイエンス」	2	○	○	○	○						
はじめてのデータサイエンス	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット（第1回） ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化（第1回） ・第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会（第2回） ・複数技術を組み合わせたAIサービス（第1回） ・人間の知的活動とAIの関係性（第1回）
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI等を活用した新しいビジネスモデル（シェアリングエコノミーなど）（第7回） ・AI最新技術の活用例（敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など）（第8回）
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど（第3回） ・1次データ、2次データ、データのメタ化（第3回） ・構造化データ、非構造化データ（文章、画像/動画、音声/音楽など）（第3回） ・データ作成（ビッグデータとアノテーション）（第3回） ・データのオープン化（オープンデータ）（第3回）
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり（生産、消費、文化活動など）（第4回） ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど（第4回） ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など（第4回）
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など（第5回） ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ（第5回） ・認識技術、ルールベース、自動化技術（第5回）
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル（課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案）（第6回） ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介（第7回）

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) (第13回) ・ 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト (第13回) ・ データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護 (第13回) ・ AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) (第14回) ・ データバイアス、アルゴリズムバイアス (第15回) ・ データ・AI活用における負の事例紹介 (第14回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性 (第15回) ・ 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取 (第15回) ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介 (第15回)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの種類 (量的変数、質的変数) (第9回) ・ データの分布(ヒストグラム)と代表値 (平均値、中央値、最頻値) (第9回) ・ 代表値の性質の違い (実社会では平均値=最頻値でないことが多い) (第9回) ・ データのばらつき (分散、標準偏差、偏差値) (第9回) ・ 打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ (第9回、第10回) ・ 相関と因果 (相関係数、擬似相関、交絡) (第10回) ・ 母集団と標本抽出 (国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出) (第10回) ・ クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列 (第10回) ・ 統計情報の正しい理解 (誇張表現に惑わされない) (第10回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ表現 (棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ) (第11回) ・ データの図表表現 (チャート化) (第11回) ・ データの比較 (条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト) (第11回) ・ 不適切なグラフ表現 (チャートジャンク、不必要な視覚的要素) (第11回) ・ 優れた可視化事例の紹介 (可視化することによって新たな気づきがあった事例など) (第11回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの集計 (和、平均) (第9回、第10回) ・ データの並び替え、ランキング (第12回) ・ データ解析ツール (スプレッドシート) (第9回～第12回) ・ 表形式のデータ (csv) (第3回)

⑪ プログラムの学修成果 (学生等が身に付けられる能力等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる ・ 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる ・ どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる ・ データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる ・ AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

科目名 クラス名	総合科目（はじめてのデータサイエンス）1Aクラス		
科目名（英語）	Interdepartmental Lecture：Special Topic		
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎		
ナンバリング			
学科	2020～2023年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年／2020～2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年		
学年	1年	開講期	2024年度前期
授業形態	講義	単位数	2単位
遠隔授業対象科目	オンデマンド形式		
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、共通科目「総合」領域の選択科目であり、学外の企業、団体、有志などの協力を得て、社会の動向と連動するような課題や共通科目が取り上げる話題について取り上げます。	
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネスでの課題解決に活用しています。大学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求められています。本科目では、AI・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをねらいとします。	
③授業の方法（ALを含む）	<ul style="list-style-type: none"> オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。（教材サイト https://jumonji-elearning.com） 所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。 	その他（記述内容参照）／ICT
④到達目標	<ul style="list-style-type: none"> AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける 	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする）	NES③;就業観を養う力、NES⑤;課題発見能力、NES⑤;論理的思考力	

教科書	
推薦書・参考文献	

履修上の助言、教員からのメッセージ	<p>e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。</p> <p>ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。</p> <p>また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。</p> <p>最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。</p> <p>授業内容の質問に関しては、UNIPAのQ&Aか学内メールで対応します。また、オリエンテーション期間中にZoomでオリエンテーションを行います。日程やミーティングID等は、UNIPAの授業資料に掲載するので、参照してください。</p>
-------------------	---

第1回		
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの確認 e-Learning教材の実行準備（インターネット、Webアクセス） 	90分
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データサイエンスとは</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション データサイエンスとは データサイエンスが重要視される背景 データ活用を支援するデジタル技術のキーワード 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第2回		

授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 社会で起きている変化 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・日本企業の国際競争力低下 ・市場の大きな変化 ・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オープンデータ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AI活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回		
授業内容	○データリテラシー データを読む(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・データの種類 ・データの代表値①～計算的代表値～ ・演習：相乗平均、調和平均 ・データの代表値②～位置的代表値～ ・演習：データの代表値 ・データのばらつき ・演習：データのばらつき ・データのチェック ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分

第10回			
授業内容	○データリテラシー データを読む(2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・相関と因果① ・演習：相関関係 ・相関と因果② ・演習：アンスコム の例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り		
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分	
第11回			
授業内容	○データリテラシー データを説明する 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・グラフをつくる ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ ・演習：グラフをつくる ・データの比較 ・適切なグラフ表現 ・優れたデータ可視化事例		
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分	
第12回			
授業内容	○データリテラシー データを扱う 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・はじめに ・演習1「売上げを予測する」 ・演習2「顧客層を分析する」 ・演習3「顧客満足度を把握する」 ・演習4「顧客不満の要因を探る」		
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分	
第13回			
授業内容	○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか		
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分	
第14回			
授業内容	○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・バイアスとは ・データ収集におけるバイアス ・データ・AIを扱う上でのバイアス ・AIの正しい活用に向けて		
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分	
第15回			
授業内容	○データ・AI活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・情報セキュリティ ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ：本講座におけるメッセージ		
事後学習	確認テストを行う 最終テストを行う	180分	
フィードバック	・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること		
評価方法および評価の基準	到達目標に示したすべての項目について、最終テストで評価を行う。 ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト(合計105問)の中から、ランダム形式で出題する。(100点満点) ・回答率60点以上を合格とする。 ・演習で行った内容(難しい場合は、振り返りレポート)については、提出状況により加点を行う。(最大10点)		
ループリック			
		評価基準	

DP	評価項目	【S】到達目標以上に達している	【A】到達目標を十分に達成できている	【B】到達目標を達成できている（到達目標）	【C】到達目標を最低限度は達成できている	評価方法
就業観を養う力	キャリア形成における現代社会の理解	AI・データサイエンスの必要性を十分に理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの必要性を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解できる。	テスト 100%
課題発見能力	データ・AIを扱う上での課題	データ・AIを扱う上での課題や留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が理解できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。	テスト 100%
論理的思考力	データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解できる。	データを扱うことができる。	テスト 100%

科目名 クラス名	総合科目（はじめてのデータサイエンス）2Aクラス		
科目名（英語）	Interdepartmental Lecture : Special Topic		
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎		
ナンバリング			
学科	2020～2023年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年／2020～2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年／2020～2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年		
学年	1年	開講期	2024年度後期
授業形態	講義	単位数	2単位
遠隔授業対象科目	オンデマンド形式		
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、共通科目「総合」領域の選択科目であり、学外の企業、団体、有志などの協力を得て、社会の動向と連動するような課題や共通科目が取り上げる話題について取り上げます。	
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネスでの課題解決に活用しています。大学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求められています。本科目では、AI・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをねらいとします。	
③授業の方法（ALを含む）	<ul style="list-style-type: none"> オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。（教材サイト https://jumonji-elearning.com） 所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。 	その他（記述内容参照）／ICT
④到達目標	<ul style="list-style-type: none"> AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける 	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする）	NES③;就業観を養う力、NES⑤;課題発見能力、NES⑤;論理的思考力	

教科書	
推薦書・参考文献	

履修上の助言、教員からのメッセージ	<p>e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。</p> <p>ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。</p> <p>また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。</p> <p>最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。</p> <p>授業内容の質問に関しては、学内メールで対応します。</p> <p>オリエンテーション期間中に、UNIPAの授業資料にガイダンスの動画を掲載するので履修方法等を確認してください。</p>
-------------------	---

第1回		
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの確認 e-Learning教材の実行準備（インターネット、Webアクセス） 	90分
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データサイエンスとは</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション データサイエンスとは データサイエンスが重要視される背景 データ活用を支援するデジタル技術のキーワード 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第2回		

授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 社会で起きている変化 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・日本企業の国際競争力低下 ・市場の大きな変化 ・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オープンデータ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AI活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回		
授業内容	○データリテラシー データを読む(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・データの種類 ・データの代表値①～計算的代表値～ ・演習：相乗平均、調和平均 ・データの代表値②～位置的代表値～ ・演習：データの代表値 ・データのばらつき ・演習：データのばらつき ・データのチェック ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分

第10回			
授業内容	<p>○データリテラシー データを読む(2)</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相関と因果① <ul style="list-style-type: none"> ・演習：相関関係 ・相関と因果② <ul style="list-style-type: none"> ・演習：アンスコム の例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り 		
事後学習・次回事前学習	<p>確認テストを行う</p> <p>演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)</p>	180分	
第11回			
授業内容	<p>○データリテラシー データを説明する</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ <ul style="list-style-type: none"> ・演習：グラフをつくる ・データの比較 ・適切なグラフ表現 ・優れたデータ可視化事例 		
事後学習・次回事前学習	<p>確認テストを行う</p> <p>演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)</p>	180分	
第12回			
授業内容	<p>○データリテラシー データを扱う</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに <ul style="list-style-type: none"> ・演習1「売上げを予測する」 ・演習2「顧客層を分析する」 ・演習3「顧客満足度を把握する」 ・演習4「顧客不満の要因を探る」 		
事後学習・次回事前学習	<p>確認テストを行う</p> <p>演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)</p>	180分	
第13回			
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(1)</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか 		
事後学習・次回事前学習	<p>確認テストを行う</p>	180分	
第14回			
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(2)</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイアスとは <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集におけるバイアス ・データ・AIを扱う上でのバイアス ・AIの正しい活用に向けて 		
事後学習・次回事前学習	<p>確認テストを行う</p>	180分	
第15回			
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ：本講座におけるメッセージ 		
事後学習	<p>確認テストを行う</p> <p>最終テストを行う</p>	180分	
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること 		
評価方法および評価の基準	<p>到達目標に示したすべての項目について、最終テスト及びレポートで評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト(合計 105問)の中から、ランダム形式で出題する。(100点満点) ・レポート課題を行い、UNIPAより提出をする。(20点満点) ・テストとレポートの合計で、回答率60%以上を合格とする。 		
ループリック			
		評価基準	

DP	評価項目	【S】到達目標以上に達している	【A】到達目標を十分に達成できている	【B】到達目標を達成できている（到達目標）	【C】到達目標を最低限度は達成できている	評価方法
就業観を養う力	キャリア形成における現代社会の理解	AI・データサイエンスの必要性を十分に理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの必要性を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解できる。	テスト 100%
課題発見能力	データ・AIを扱う上での課題	データ・AIを扱う上での課題や留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が理解できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。	テスト 100%
論理的思考力	データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解できる。	データを扱うことができる。	テスト 100%

科目名 クラス名	はじめてのデータサイエンス		
科目名 (英語)			
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎		
ナンバリング	NEf2032		
学科	2024年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年 / 2024年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年 / 2024年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年 / 2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 1年 / 2024年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年 / 2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こともコース 1年 / 2024年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年 / 2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年 / 2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年 / 2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年 / 2024年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年 / 2024年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年		
学年	1年	開講期	2024年度後期
授業形態	演習	単位数	2単位
遠隔授業対象科目	オンデマンド形式		
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、共通科目のICT・データサイエンス領域に該当する必修科目である。	
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネスでの課題解決に活用しています。大学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求められています。本科目では、AI・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをねらいとします。	
③授業の方法 (ALを含む)	<ul style="list-style-type: none"> オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。(教材サイト https://jumonji-elearning.com) 所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。 	その他 (記述内容参照) / ICT
④到達目標	<ul style="list-style-type: none"> AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける 	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 (右の資質・能力を育成することを目的とする)	【対課題-3】;社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決	

教科書	
推薦書・参考文献	

履修上の助言、教員からのメッセージ	<p>e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。</p> <p>ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。</p> <p>また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。</p> <p>最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。</p> <p>授業内容の質問に関しては、学内メールで対応します。</p> <p>オリエンテーション期間中に、UNIPAの授業資料にガイダンスの動画を掲載するので履修方法等を確認してください。</p>
-------------------	---

第1回		
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの確認 e-Learning教材の実行準備 (インターネット、Webアクセス) 	90分
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データサイエンスとは</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション データサイエンスとは データサイエンスが重要視される背景 データ活用を支援するデジタル技術のキーワード 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第2回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 社会で起きている変化</p> <p>以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本企業の国際競争力低下 市場の大きな変化 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オープンデータ 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		
授業内容	<p>○社会におけるデータ・AI活用 データ・AI活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回		
授業内容	<p>○データリテラシー データを読む(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの種類 ・データの代表値①～計算的代表値～ ・演習：相乗平均、調和平均 ・データの代表値②～位置的代表値～ ・演習：データの代表値 ・データのばらつき ・演習：データのばらつき ・データのチェック ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第10回		
授業内容	<p>○データリテラシー データを読む(2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・相関と因果① <ul style="list-style-type: none"> ・演習：相関関係 ・相関と因果② <ul style="list-style-type: none"> ・演習：アンスコムの例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する（演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する）	180分
第11回		
授業内容	<p>○データリテラシー データを説明する 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフをつくる ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ <ul style="list-style-type: none"> ・演習：グラフをつくる ・データの比較 ・適切なグラフ表現 ・優れたデータ可視化事例 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する（演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する）	180分
第12回		
授業内容	<p>○データリテラシー データを扱う 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・演習1「売り上げを予測する」 ・演習2「顧客層を分析する」 ・演習3「顧客満足度を把握する」 ・演習4「顧客不満の要因を探る」 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する（演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する）	180分
第13回		
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項（1） 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第14回		
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項（2） 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイアスとは ・データ収集におけるバイアス ・データ・AIを扱う上でのバイアス ・AIの正しい活用に向けて 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第15回		
授業内容	<p>○データ・AI活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ：本講座におけるメッセージ 	
事後学習	確認テストを行う 最終テストを行う	180分
フィードバック	・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
評価方法および評価の基準	<p>到達目標に示したすべての項目について、最終テスト及びレポートで評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト（合計 105問）の中から、ランダム形式で出題する。（100点満点） ・レポート課題を行い、UNIPAより提出をする。（20点満点） ・テストとレポートの合計で、回答率60%以上を合格とする。 	

ループリック						
		評価基準				
DP	評価項目	【S】 到達目標以上に達している	【A】 到達目標を十分に達成できている	【B】 到達目標を達成できている（到達目標）	【C】 到達目標を最低限度は達成できている	評価方法

実践的解決	キャリア形成における現代社会の理解	AI・データサイエンスの必要性を十分に理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの必要性を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解できる。	テスト 100%
社会的課題の析出	データ・AIを扱う上での課題	データ・AIを扱う上での課題や留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が理解できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。	テスト 100%
解決方策の検討	データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解できる。	データを扱うことができる。	テスト 100%

I

共通科目 教育課程

〈全学部全学科共通〉[2023年度生]

授業科目区分	必要な単位数	人間生活学部		教育人文学部		社会情報デザイン学部		条件
		必修	選択必修	必修	選択必修	必修	選択必修	
ゼミナール	●22単位以上 ・必修8単位 ・選択必修6単位 ・選択科目8単位以上を履修すること	3	0	3	0	3	0	「入門ゼミナール」1科目2単位必修 「コミュニケーション演習」1科目1単位必修
総合		2	0	2	0	0	0	人間生活学部は「地域と人間生活」1科目2単位必修 教育人文学部は「人間理解ワークショップ」1科目2単位必修
女性を生きる		0	2	0	2	0	2	指定の科目(*1)から1科目2単位以上を選択必修
社会に生きる		0	2	0	2	0	2	指定の科目(*2)から1科目2単位以上を選択必修
保健体育		0	1	0	1	0	1	1科目1単位以上を選択必修 (なお、「身体運動I」を履修することが望ましい。)
情報処理		1	0	1	0	1	0	「情報処理演習I」1科目1単位必修
外国語(基礎科目)		0	1	0	1	0	1	1科目1単位以上を選択必修
外国語目的別科目		0	0	0	0	2	0	社会情報デザイン学部は「英語コミュニケーション応用」1科目2単位必修
日本語(非母語者向)								日本語を母国語としない者のみ履修可
キャリア教育		2	0	2	0	2	0	「キャリアデザイン入門」1科目2単位必修

▶ 学年別配当欄の前・後期に○があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

授業科目	単位数		授業形態	学年別配当								備考	
	必修	選択		1年		2年		3年		4年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
ゼミナール	2		講義	○									
	1		演習	○	○								
		2	演習		○		○		○		○		
		2	演習			○	○	○	○				
		2	演習						○	○	○	○	
総合		2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○		
	※1	※2	講義			○	○	○	○	○	○		※1…人間生活学部 ※2…教育人文学部 社会情報デザイン学部
		2	講義		○		○		○		○		
	※3	※4	講義			○	○	○	○	○	○		※3…教育人文学部 ※4…人間生活学部 社会情報デザイン学部
		2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○		
自主社会活動 ※①		1	演習	○	○	○	○	○	○	○	○		繰り返し受講可
キャリアデザインとライフプラン *1		2	講義	○	○							*1の5科目から1科目2単位以上を履修すること	
リーガルリテラシー *1		2	講義	○	○								
ジェンダーリテラシー *1		2	講義	○	○								
子育てと環境 *1		2	講義	○	○								
女性と健康 *1		2	講義	○	○								
女性を生きる		2	講義	○	○	○	○	○	○			保育士資格取得希望者及び管理栄養士国家試験受験資格取得希望者は、「女性の心と身体」を履修すること	
食の科学		2	講義			○	○	○	○				
歴史のなかの女性		2	講義			○	○	○	○				
芸術を読みとる		2	講義			○	○	○	○				

注：※①印の「自主社会活動」の単位取得方法についての詳細は、P.52を参照してください。

[共通科目]

▶ 学年別配当欄の前・後期に○があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

授業科目	単位数		授業形態	学年別配当								備考	
	必修	選択		1年		2年		3年		4年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
社会に生きる	グローバル社会	*2	2	講義	○	○							*2の5科目から1科目2単位以上を履修すること
	ネットワーク社会	*2	2	講義	○	○							
	共生社会入門	*2	2	講義	○	○							
	多様性と倫理	*2	2	講義	○	○							
	持続可能な社会	*2	2	講義	○	○							
	くらしのなかの日本国憲法		2	講義	○	○	○	○	○	○			教員免許取得希望者は、「くらしのなかの日本国憲法」を履修すること
	ボランティア論		2	講義	○	○	○	○	○	○			
	災害と社会		2	講義			○	○	○	○			
	21世紀型の教育		2	講義			○	○	○	○			
保健体育	身体運動Ⅰ		1	実技	○		○		○		○		1科目1単位履修（「身体運動Ⅰ」を履修することが望ましい）。 教員免許取得希望者及び保育士資格取得希望者は2科目2単位を履修すること 「身体運動Ⅱ」は、繰り返し受講可（ただし条件あり）
	身体運動Ⅱ		1	実技		○		○		○	○		
情報処理	情報処理演習Ⅰ		1	演習	○								教員免許取得希望者は、2科目2単位を履修すること
	情報処理演習Ⅱ		1	演習		○		○		○	○		
外国語（基礎科目）	英語Ⅰa		1	演習	○								12科目から1科目1単位以上を履修すること ただし、日本語を母語としない者は、「総合日本語Ⅰa」「総合日本語Ⅰb」を履修すること。
	英語Ⅰb		1	演習		○							
	英語Ⅱa		1	演習			○		○		○		教員免許取得希望者及び保育士資格取得希望者は、以下のいずれかの科目2科目2単位を履修すること ・「英語Ⅰa」と「英語Ⅰb」の2科目2単位 ・「中国語Ⅰa」と「中国語Ⅰb」の2科目2単位 ・「朝鮮語Ⅰa」と「朝鮮語Ⅰb」の2科目2単位 ・「フランス語Ⅰa」と「フランス語Ⅰb」の2科目2単位
	英語Ⅱb		1	演習			○		○		○		
	中国語Ⅰa		1	演習	○								
	中国語Ⅰb		1	演習		○							
	中国語Ⅱa		1	演習			○		○		○		
	中国語Ⅱb		1	演習				○		○		○	
	朝鮮語Ⅰa		1	演習	○								
	朝鮮語Ⅰb		1	演習		○							
	フランス語Ⅰa		1	演習	○								
	フランス語Ⅰb		1	演習		○							
	海外語学研修		1	実習	○		○		○		○		
	英語コミュニケーション基礎a		1	演習			○		○		○		
英語コミュニケーション基礎b		1	演習				○		○		○		
英語コミュニケーション発展a		1	演習					○		○			
英語コミュニケーション発展b		1	演習						○		○		
英語コミュニケーション応用	※5 2	※6 2	2	演習		○		○		○		○	※5…社会情報デザイン学部 ※6…人間生活学部 教育人文学部
アドバンスト・リスニング		2	2	講義		○		○		○		○	
アドバンスト・リーディング		2	2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○	
アドバンスト・ライティング		2	2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○	
ビジネス英語		2	2	講義				○		○		○	
映画・ドラマ英語		2	2	講義				○	○	○	○	○	
インターネット英語		2	2	講義				○		○		○	
メディア英語		2	2	講義				○		○		○	
TOEIC対策講座		2	2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語試験対策講座		2	2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本語検定対策講座		2	2	講義	○	○	○	○	○	○	○	○	

[共通科目]

▶ 学年別配当欄の前・後期に○があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

授 業 科 目		単位数		授 業 形 態	学年別配当								備 考		
		必 修	選 択		1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
共通科目	日本語 (非母語者向)		1	演習	○										日本語を母語としない者は「総合日本語Ⅰa」「総合日本語Ⅰb」を履修し単位を修得すれば、外国語(基礎科目)の単位として認定する。 ただし、JLPTN1を取得している(なければ模擬試験で測定)、かつ、教員が実施する課題をもって話す能力と書く能力がCEFRのC2レベルであると判断された者は、他の外国語を選択することができる。
			1	演習		○									
			1	演習			○								
			1	演習				○							
			1	演習					○		○				
			1	演習						○		○			
			1	演習	○		○		○		○				
			1	演習		○		○		○		○			
			1	演習	○		○		○		○				
			1	演習		○		○		○		○			
			1	演習	○		○		○		○				
			1	演習		○		○		○		○			
			1	演習	○		○		○		○				
			1	演習		○		○		○		○			
			1	演習	○		○		○		○				
		1	演習		○		○		○		○				
		1	演習	○		○		○		○					
		2		講義			○	○							
	キャリア教育		2	講義			○								
		2	講義			○									
		2	講義				○								
		2	講義					○							
		2	演習						○						
		2	講義			○		○							
		2	講義				○		○						
		1	実習	○	○	○	○	○	○	○			繰り返し受講可		
	2	実習	○	○	○	○	○	○	○			繰り返し受講可			

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるようになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身に付けるべき資質・能力	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> 大学の学修で必要となる学びの方法（スタディーズスキル）を身につける。 人や文化などの多様性を理解し、課題を発見・分析する力をつける。 価値観や考え方の違いを乗り越えた関係を築きながら、課題を解決するスキルを身につける。 	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール	課題解決ゼミナール	総合ゼミナール	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の一員として地域と、そこで生きる人間への理解を深める。 地域的課題への問題意識や人間理解の意識をもち、個々の事象を複数の視点から捉えることができる。 人々と関わり、積極的に参画する態度や技能を身につける。 	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動	地域と人間生活（※人間生活学部のみ必修。教育人文学部と社会情報デザイン学部は選択。） 人間理解ワークショップ（※教育人文学部のみ必修。人間生活学部と社会情報デザイン学部は選択。）		
女性を生きる	<ul style="list-style-type: none"> 社会における女性の立場について、現状を冷静に理解し把握する。 これからの社会において女性の役割や生き方、あり方について、考えられる課題を解決していく力をつける。 文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。 	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体	5 科目から 1 科目選択必修	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	
社会に生きる	<ul style="list-style-type: none"> 異なる価値観を理解し、これからの社会に生きる力をつける。 現代的課題への問題意識をもとに多様な視点から未来をデザインする力をつける。 文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。 	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 暮らしのなかの日本国憲法 ボランティア論	5 科目から 1 科目選択必修	災害と社会 21世紀型の教育	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康を保持増進する手段を学び、運動により人生を豊かにする力をつける。 	身体運動 I 身体運動 II			
情報処理	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータや電子機器を活用し、自らの学修に活用することができる。 図表等を用いた表現など状況にあった活用を行うことができる。 	情報処理演習 I 情報処理演習 II			
外国語（基礎科目）	<ul style="list-style-type: none"> 選択した言語の基本的な構造や語彙を理解し、実際に使用することができる。 自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。 	英語 I a 英語 I b 中国語 I a 中国語 I b 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b フランス語 I a フランス語 I b 海外語学研修	英語 II a 英語 II b 中国語 II a 中国語 II b		

外国語目的別科目	<ul style="list-style-type: none"> 選択した言語の基本的な構造や語彙を理解し、実際に使用することができる。 自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。 	英語コミュニケーション応用（※社会情報デザイン学部のみ必修。人間生活学部と教育人文学部は選択。） アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング TOEIC対策講座 中国語試験対策講座 日本語検定対策講座 アドバンスト・ライティング	英語コミュニケーション基礎 a 英語コミュニケーション基礎 b ビジネス英語 映画・ドラマ英語 インターネット英語 メディア英語	英語コミュニケーション発展 a 英語コミュニケーション発展 b	
----------	---	---	---	------------------------------------	--

日本語（非母語者向）	<ul style="list-style-type: none"> 自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。 文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。 わかりやすい文章を書くことができる。レポート、論文、発表の資料などわかり易くまとめることができる。 図表等を用いた表現など状況にあった活用を行うことができる。 論理的に考えたことを、（文章や口頭および視覚的に）的確に相手に伝えることができる。 	総合日本語 I a 総合日本語 I b 日本語表現技術 I 日本語表現技術 II 日本語表現技術 III 日本語表現技術 IV 日本語研究 A（時事 I） 日本語研究 B（時事 II） 日本語研究 C（ビジネス I） 日本語研究 D（ビジネス II） 日本語研究 E（医療・福祉専門） 日本語研究 F（人文科学） 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II 日本語集中講座（編入）	総合日本語 II a 総合日本語 II b	総合日本語 III a 総合日本語 III b	
------------	---	---	--------------------------	----------------------------	--

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて自己成長を図ろうとする意欲と態度を身につける。 社会で働くことに対する視野を形成し、職業人として自立するための能力と意欲を身につける。さらに、就業に必要な基礎的能力を修得する。 大学における学修と大学生活の意義を有効に活用するための資質や態度を身に付け、将来の転機に向けて必要なキャリア設計をすることができる。 	インターンシップ短期 インターンシップ長期	キャリアデザイン入門 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 キャリア基礎力 I キャリア基礎力 II	キャリアサポート演習	
--------	---	--------------------------	---	------------	--

学生が身に付けるべき資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分や周囲の役割を理解し、互いに連携・協力して物事を行うことができる。 自分の気持ちを認識し、客観的に自分の言動をコントロールすることができる。 他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる。 論理的に考えたことを、（文章や口頭および視覚的に）的確に相手に伝えることができる。 自分と異なる立場や意見でも、共感し、受け入れることができる。 どんな相手に対しても、相手に合わせて、自分の考えを述べることができる。 ゴールイメージを明確にし、目標を立てることができる。 自ら物事にとりかかり、実行に移すことができる。 				
-----------------	---	--	--	--	--

CP	<p>本学の共通・教養教育を展開する共通科目においては、大学ディプロマ・ポリシーにあげた資質・能力等を身につけさせるため、次の基本方針に基づいた編成を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な学修能力を養い、心身の充実を図りつつ、自立した女性として、問題を探究する力を身につけさせる 2. 体系的・学際的な学修により培われた知識・技能・教養を女性の視点から地域や社会の中で生かす能力と態度を身につけさせる 3. 社会生活に必要な知的・社会的コンピテンスを身につけるとともに、多様な人々の立場や意見を尊重しつつ、女性としての誇りをもち、よりよい社会の発展と文化の向上に貢献する姿勢を身につけさせる <p>これらの方針をもとに、共通科目課程には、10の科目区分、「ゼミナール」「総合」「女性を生きる」「社会に生きる」「保健体育」「情報処理」「外国語（基礎科目）」「外国語目的別科目」「日本語（非母語者向）」「キャリア教育」を設け、各科目区分の学修課程に応じた科目を配置する。</p>				
----	---	--	--	--	--

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるようになっていきます。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ → 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> 文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。 他者の意見を耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の意見をまわりの人にわかりやすく伝えることができる。 実社会や実生活を分析的に捉え、身の回りにある課題に気付くとともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。 実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ、表現することができる。 身のまわりの課題解決に向けて、グループやチームで協働的に取り組み、話し合いを通して考えをまとめ、表現することができる。 実社会や実生活にある問題の背景を探り、手順を踏んで検討を重ね、解決に向けたアイデアを分かりやすく表現することができる。 他者との関わりの中で、主体的・協働的に取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら積極的に問題解決に取り組むことができる。 他者との関わり合いの中で、互いのよきや役割を意識しながら新たな価値の創造を目指して協働的に課題解決に取り組むことができる。 他者と協働しながら解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を継続して探究していくことができる。 	入門ゼミナール 課題発見・探求ゼミナール 課題解決ゼミナール			総合ゼミナール
総合	<ul style="list-style-type: none"> 講義や講話を聞いて、自己の既有知識及び他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持って学修する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行う、他者と対話したりなどし、適切なノートテイキングができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、適切なノートテイキングができる。 講義や講話の基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、そこでの知見及び他者からの地検を将来に生かそうとしている。 講義や講話の基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、芽ばえた疑問点を追究する中で得られた知見を将来に生かそうとしている。 	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動		地域と人間生活 人間理解ワークショップ	
人間	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	キャリアデザインとライフプラン リーガリティラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康			食の科学 歴史のなかの女性 芸術を讀みとる
社会	<ul style="list-style-type: none"> 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会			
体育健					災害と社会 21世紀型の教育
		身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ			

ICT・データサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の操作、ネットワークに関する基礎的な知識を理解している。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性を理解し、情報倫理を踏まえたICT活用について理解している。 データを収集、整理、分析する方法を身につけ、表現方法について理解し、さまざまな社会課題を解決していく力を備えている。 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を理解し、実際にICT機器の基本となる操作ができる。 情報発信における責任、情報モラルについて理解し、情報発信手段の特性の理解及び、適切な手段の選択ができる。 問題・課題の発見と解決に向けて意思決定する力を備えており、社会的な課題を解決することができる。 ネットワークサービス、コミュニケーション手段の特徴を理解し、それを生かしたICTを活用した情報発信や情報収集をすることができる。 情報社会に主体的に参画する態度を身につけ、自ら積極的に情報を収集し、発信することができる。 社会における課題をICTで解決しようとするときに、仲間とともに協力して課題の解決に向けた方策を検討したり、その成果を生かして、身近な課題を解決することができる。 	はじめてのデータサイエンス 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ				
外国語（基礎科目）	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、文字・音声から得られる情報内容を的確に把握し、情報を整理することができる。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、その概要や要点・詳細・話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深めることができる。 文字・音声から得られる情報内容を的確に把握し、情報を整理し、その概要を文字・音声を使用し、わかりやすい形で表出できる。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、伝え合うことができる。 言語を通じて得た文化や社会における課題について、自らの意見をまとめ、表現することができる。 日常的な話題や社会的な話題について資料を整理・分析し、その概要や自分の意見を論理的に表出したり、他者の意見との違いについて考察を深めることができる。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、他者の考えを聞いたり、読んだりし、多様な意見を踏まえたうえで考察を深めることができる。 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深め、仲間とともに課題を追究することができる。 	英語コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb	英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb			
日本語（非母語者用）	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅲ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ） 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ） 日本語研究E（医療・福祉専門） 日本語研究F（人文学） 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座（編入）			総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅱb	
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	インターンシップ短期 インターンシップ長期		キャリアデザイン入門 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成		キャリア基礎力Ⅰ キャリア基礎力Ⅱ キャリアサポート演習
DP	人間生活学部は、次の学生像を人材育成の方針とする。 1. 「食・栄養・運動・福祉」に関する知識を基に、生涯にわたって人・社会に関心をもち、「健康」について科学的に思考し、探究しつづける力を備えている。 2. 多様な価値観と向き合い、他者を尊重し互いを認め合いながら、連携・協働する力を備えている。 3. 人間生活における様々な課題を見出し、解決するための策を思考し、実践する力を備えている。					

人間生活学部 (N)

共通科目教育課程 2024年度生

科目群		卒業に必要な単位数
共通	必修	9単位
	選択必修	6単位
	選択	7単位以上
計		22単位以上

- 必修科目 9 単位履修すること
- 選択必修科目 6 単位履修すること。6 単位を超えた分は選択科目の単位となる。
- 選択科目 7 単位以上履修すること
- 合計 22 単位以上履修すること

▶ 履修期欄に「前・後」と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

科目区分	授業科目	単位数			授業形態	履修期	配当年次	備考	身につく力 (◎…重要な目的としている ○…主な目的としている)														
		必修	選択必修	選択					把握・資料探索	資料読解・問題把握	自己課題発見・解決への模索・省察	協働的課題追究	資料収集・資料分析	解決・協働的学習	対話的検討・自力	協働的課題解決(の特性・なし)の省察	協働的課題解決	分析・協働的考察	協働的資料収集	実態把握・資料活用	プレゼンテーション	実態と背景の把握	社会的課題の抽出・解決案の検討・協働的表現
ゼミナール	入門ゼミナール	2			講義	前	1		◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	後	1・2・3・4		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	課題解決ゼミナール			2	演習	前・後	2・3																
	総合ゼミナール			2	演習	前・後	3・4																◎
総合	地域で学ぶ			2	講義	前・後	1・2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域と人間生活	2			講義	前・後	2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人間関係とコミュニケーション			2	講義	前・後	1・2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人間理解ワークショップ			2	講義	前・後	2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合科目			2	講義	前・後	1・2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間	自主社会活動			1	演習	前・後	1・2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キャリアデザインとライフプラン	2			講義	前・後	1																
	リーガルリテラシー	2			講義	前・後	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ジェンダーリテラシー	2			講義	前・後	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子育てと環境	2			講義	前・後	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	女性と健康	2			講義	前・後	1																
	女性の心と身体			2	講義	前・後	1・2・3																
社会	食の科学			2	講義	前・後	2・3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史のなかの女性			2	講義	前・後	2・3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芸術を読みとる			2	講義	前・後	2・3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グローバル社会	2			講義	前・後	1																
	ネットワーク社会	2			講義	前・後	1																
	共生社会入門	2			講義	前・後	1																
	多様性と倫理	2			講義	前・後	1																
社会	持続可能な社会	2			講義	前・後	1																
	くらしのなかの日本国憲法			2	講義	前・後	1・2・3																
	ボランティア論			2	講義	前・後	1・2・3																
	災害と社会			2	講義	前・後	2・3																
	21世紀型の教育			2	講義	前・後	2・3																
体育健	身体運動Ⅰ	1			実技	前	1・2・3・4		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	身体運動Ⅱ	1			実技	後	1・2・3・4		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ICT・ データサイ エンス	はじめてのデータサイエンス	2			講義	後	1																◎
	情報処理演習Ⅰ			1	演習	前	1																
	情報処理演習Ⅱ			1	演習	後	1・2・3・4																
外国語(基礎科目)	英語コミュニケーション演習	1			演習	前・後	1																
	英語Ⅰa		1		演習	前	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	英語Ⅰb		1		演習	後	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	英語Ⅱa		1		演習	前	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	英語Ⅱb		1		演習	後	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	中国語Ⅰa		1		演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅰb		1		演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅱa		1		演習	前	2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅱb		1		演習	後	2・3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	朝鮮語Ⅰa		1		演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	朝鮮語Ⅰb		1		演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語Ⅰa		1		演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語Ⅰb		1		演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
海外語学研修			1	実習	前	1・2・3・4				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

科目区分	授業科目	単位数			授業形態	履修期	配当年次	備考	身につく力 (◎…重要な目的としている ○…主な目的としている)														
		必修	選択必修	選択					資料読解・問題把握・資料探索	資料読解・問題解決への模索・省察	自己課題発見・解決の課題追究	資料収集・資料分析	解決・協働的学習	対話的検討・自力解決・協働的学習	(の習得・全う)の観察	協働的探究・協働的解決	分析・協働的考察	協働的資料収集・活用	課題解決	実態把握・資料活用	プレゼンテーション力	実態と背景の把握	社会的課題の抽出・解決策の検討・協働的実践的解決
									◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎
外国語目的別科目	実践英語 a			1	演習	前後	2・3・4		◎	◎		◎	◎										
	実践英語 b			1	演習	前後	2・3・4		◎	◎		◎	◎										
	アドバンスト・リスニング			2	講義	前後	1・2・3・4		◎	○		◎	◎		◎								
	アドバンスト・リーディング			2	講義	前後	1・2・3・4		◎	○		◎	◎		◎								
	アドバンスト・ライティング			2	講義	前後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎								
	ビジネス英語			2	講義	前後	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎								
	映画・ドラマ英語			2	講義	前後	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎								
	メディア英語			2	講義	前後	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎								
	TOEIC対策講座			2	講義	前後	1・2・3・4		◎	○													
	中国語試験対策講座			2	講義	前後	1・2・3・4																
日本語検定対策講座			2	講義	前後	1・2・3・4																	
日本語(非母語者向)	総合日本語 I a			1	演習	前後	1	※日本語を母国語としない者は「総合日本語 I a」を履修すること。ただし、JLPTNIを取っていない場合は、模擬試験、かつ、教員が実施する課題をもつ能力が CEFRR の C2レベルであると判断された者は、他の外国語を選択することができる。	◎	○		○	○										
	総合日本語 I b			1	演習	前後	1		◎	○		○	○										
	総合日本語 II a			1	演習	前後	2		◎	○		○	○										
	総合日本語 II b			1	演習	前後	2		◎	○		○	○										
	総合日本語 III a			1	演習	前後	3・4		◎	○		○	○										
	総合日本語 III b			1	演習	前後	3・4		◎	○		○	○										
	日本語表現技術 I			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語表現技術 II			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語表現技術 III			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語表現技術 IV			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 A(時事 I)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 B(時事 II)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 C(ビジネス I)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 D(ビジネス II)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 E(医療・福祉専門)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語研究 F(人文科学)			1	演習	前後	1・2・3・4		◎	○		○	○										
	日本語能力試験対策講座 I			1	演習	前後	1・2・3・4																
日本語能力試験対策講座 II			1	演習	前後	1・2・3・4																	
日本語集中講座			1	演習	前後	1・2・3・4																	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2			講義	前後	2	学科ごとに異なる		◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎					
	キャリアロールモデル研究			2	講義	前後	2																
	企業に学ぶキャリアデザイン			2	講義	前	2																
	プロアクティブ人材育成			2	講義	後	2																
	キャリアサポート演習			2	演習	通	3			◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	◎					
	キャリア基礎力 I			2	講義	前	2・3		◎	○	○												
	キャリア基礎力 II			2	講義	後	2・3		◎	○	○												
	インターンシップ短期			1	実習	前後	1・2・3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	インターンシップ長期			2	実習	前後	1・2・3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

I 学修
II 資格取得
III 人間生活 学部
IV 教育人文 学部
V 社会情報 デザイン学部
VI 教職課程
VII 諸課程
VIII 単位認定
IX 他大学との単位互換
X 大学院
XI 施設
XII Q & A
XIII 教務関連
学部のハンドブック

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるようになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1年次	2年次	3年次	4年次	
ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> 文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。 他者の意見に耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の考えをわかりやすい人にわかりやすく伝えることができる。 実社会や実生活を分析的に捉え、身の回りにおける課題に気づくとともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。 実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ、表現することができる。 身ごりの課題解決に向けて、グループやチームで協働的に取り組み、話し合いを通して考えをまとめ、表現することができる。 実社会や実生活にある問題の背景を探り、手順を踏んで検討を重ね、解決に向けたアイデアをわかりやすく表現することができる。 他者との関わりの中で、主体的・協働的に取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら積極的に課題解決に取り組むことができる。 他者との関わり合いの中で、互いのおよぎや役割を意識しながら新たな価値の創造を目指して協働的に課題解決に取り組むことができる。 他者と協働しながら解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を継続して探究していくことができる。 	入門ゼミナール	課題発見・探求ゼミナール	課題解決ゼミナール	総合ゼミナール	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 講義や講話を聞いて、自己の既有知識及び他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持って学修する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行う、他者と対話したりなどし、適切なノートテイキングができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、適切なノートテイキングができる。 講義や講話に基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、そこでの知見及び他者からの地検を将来に生かそうとしている。 講義や講話に基づいて自ら選択した科目の重要性に気づいたり、芽ばえた疑問点を追究する中で得られた知見を将来に生かそうとしている。 	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動	地域と人間生活 人間理解ワークショップ			
人間	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分ができることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけたとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康	女性と心と身体	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を眺めとる		
社会		グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会				
体育		くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論		災害と社会 21世紀型の教育		
保健		身体運動 I 身体運動 II				

ICT・データサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の操作、ネットワークに関する基礎的な知識を理解している。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性を理解し、情報倫理を踏まえたICT活用について理解している。 データを収集、整理、分析する方法を身につけ、表現方法について理解し、さまざまな社会課題を解決していく力を備えている。 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を理解し、実際にICT機器の基本となる操作ができる。 情報発信における責任、情報モラルについて理解し、情報発信手段の特性の理解及び、適切な手段の選択ができる。 問題・課題の発見と解決に向けて意思決定する力を備えており、社会的な課題を解決することができる。 ネットワークサービス、コミュニケーション手段の特徴を理解し、それを生かしたICTを活用した情報発信や情報収集をすることができる。 情報社会を主体的に参画する態度を身につけ、自ら積極的に情報を収集し、発信することができる。 社会に目を向け課題をICTを駆使して解決しようとするときに、仲間とともに協力して課題の解決に向けた方策を検討したり、その成果を生かして、身近な課題を解決することができる。 	はじめてのデータサイエンス 情報処理演習 I 情報処理演習 II	
外国語（基礎科目）	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理することができる。 コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、その概要や要点・詳細・話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深めることができる。 文字・音声から得られる情報の内容を的確に把握・情報を整理し、その概要を文字・音声を使用して、わかりやすい形で表出できる。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、伝え合うことができる。 言語を通じて得た文化や社会における課題について、自らの意見をまとめ、表現することができる。 日常的な話題や社会的な話題について資料を整理・分析し、その概要や自分の意見を論理的に表出したり、他者の意見との違いについて考察を深めることができる。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、他者の考えを聞いたり、説んだりし、多様な意見を踏まえたうえで考察を深めることができる。 言語を通じて得た文化や社会的な課題について、複数の資料を収集・活用して、考察を深め、仲間とともに課題を追究することができる。 	英語コミュニケーション演習 英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b 中国語 I a 中国語 I b 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b フランス語 I a フランス語 I b	
外国語目的別科目		海外語学研修 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング TOEIC対策講座 中国語試験対策講座 日本語検定対策講座	
日本語（非母語者用）	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分ができることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけたとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	総合日本語 I a 総合日本語 I b 日本語表現技術 I 日本語表現技術 II 日本語表現技術 III 日本語表現技術 IV 日本語表現技術 V 日本語研究 A（時事 I） 日本語研究 B（時事 II） 日本語研究 C（ビジネス I） 日本語研究 D（ビジネス II） 日本語研究 E（医療・福祉専門） 日本語研究 F（人文科学） 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II 日本語集中講座（編入）	実践英語 a 実践英語 b ビジネス英語 映画・ドラマ英語 メディア英語
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分ができることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 社会の実態を捉え、そこから問題を見つけたとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省察し、チームとしての成果を発表することができる。 現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追究課題を創造できる。 捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。 	総合日本語 II a 総合日本語 II b 総合日本語 III a 総合日本語 III b	キャリアデザイン入門 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 キャリア基礎力 I キャリア基礎力 II
DIP	教育人文学部は、次の学生像を人材育成の方針とする。 1. 「こころ」と「ことば」を根幹として、それらが織りなす人間の創造性を読み解き、自他ともに学び続けることにより、生涯にわたって自己を確立しようとする態度を身につけている。 2. 自他との深い対話を通して、共感的理解力を備えた人間性を育み、多様性の理解に基づいた他者と協働する力を身につけている。 3. 社会における諸課題をたらえ、多様な文化を認め合いながら、持続可能で豊かな社会の構築に寄与する力を身につけている。	インターンシップ短期 インターンシップ長期 キャリアサポーター演習	

教育人文学部 (E)

共通科目教育課程 2024年度生

科目群		必要な単位数
共通	必修	9単位
	選択必修	6単位
	選択	7単位以上
計		22単位以上

- 必修科目 9 単位履修すること
- 選択必修科目 6 単位履修すること。6 単位を超えた分は選択科目の単位となる。
- 選択科目 7 単位以上履修すること
- 合計22単位以上履修すること

▶履修欄に「前・後」と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

科目区分	授業科目	単位数			履修形態	履修期	配当年次	備考	身につく力															
		必修	選択必修	選択					◎…重要な目的としている	○…主な目的としている	社会的課題の析出・解決策の検討・協働的・実践的解決	実態と背景の把握・プレゼンテーション力	実態把握・資料活用・課題解決	協働的資料収集・分析・協働的考察	協働的意見・協働的解決(の発行)としての観察	対話的検討・自力解決・協働的学習	資料収集・資料分析・協働的課題追究	目・課題発見・解決への模索・省察	資料読解・問題把握・資料探索					
ゼミナール	入門ゼミナール	2			講義	前	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	課題解決ゼミナール			2	演習	前・後	2・3																	
	総合ゼミナール			2	演習	前・後	3・4																	
総合	地域で学ぶ		2		講義	前・後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域と人間生活		2		講義	前・後	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	人間関係とコミュニケーション		2		講義	後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	人間理解ワークショップ	2			講義	前・後	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	総合科目		2		講義	前・後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	自主社会活動		1		演習	前・後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	キャリアデザインとライフプラン	2			講義	前・後	1																	
人間	リーガルリテラシー		2		講義	前・後	1	5科目から1科目2単位以上履修																
	ジェンダーリテラシー		2		講義	前・後	1																	
	子育てと環境		2		講義	前・後	1																	
	女性と健康		2		講義	前・後	1																	
	女性の心と身体		2		講義	前・後	1・2・3		保育士希望者は必修															
	食の科学		2		講義	前・後	2・3																	
	歴史のなかの女性		2		講義	前・後	2・3																	
	芸術を読みとる		2		講義	前・後	2・3																	
社会	グローバル社会		2		講義	前・後	1	5科目から1科目2単位以上履修																
	ネットワーク社会		2		講義	前・後	1																	
	共生社会入門		2		講義	前・後	1																	
	多様性と倫理		2		講義	前・後	1																	
	持続可能な社会		2		講義	前・後	1																	
	くらしのなかの日本国憲法		2		講義	前・後	1・2・3	教員免許取得希望者は必修																
	ボランティア論		2		講義	前・後	1・2・3																	
体育・保健	身体運動Ⅰ		1		実技	前	1・2・3・4	1科目1単位履修「身体運動Ⅰ」を履修することが望ましい。教員免許取得希望者は2科目2単位履修すること	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	身体運動Ⅱ		1		実技	後	1・2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	はじめてのデータサイエンス	2			講義	後	1																◎	
ICT・IT・IT	情報処理演習Ⅰ			1	演習	前	1		◎															
	情報処理演習Ⅱ			1	演習	後	1・2・3・4																	
外国語(基礎科目)	英語コミュニケーション演習	1			演習	前・後	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	英語Ⅰa		1		演習	前	1	12科目から1科目を選択必修 ただし、日本語を母国語としない者は、「総合日本語Ⅰa」「総合日本語Ⅰb」を履修すること	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	英語Ⅰb		1		演習	後	1			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	英語Ⅱa		1		演習	前	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	英語Ⅱb		1		演習	後	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	中国語Ⅰa		1		演習	前	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	中国語Ⅰb		1		演習	後	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	中国語Ⅱa		1		演習	前	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	中国語Ⅱb		1		演習	後	2・3・4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	朝鮮語Ⅰa		1		演習	前	1	教員免許取得希望者は、「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」、「中国語Ⅰa」「中国語Ⅰb」、「朝鮮語Ⅰa」	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	朝鮮語Ⅰb		1		演習	後	1	「朝鮮語Ⅰb」、「フランス語Ⅰa」「フランス語Ⅰb」のいずれか2科目2単位を履修	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	フランス語Ⅰa		1		演習	前	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	フランス語Ⅰb		1		演習	後	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
海外語学研修			1	実習	前	1・2・3・4																	◎	

社会情報デザイン学部 (S)

共通科目教育課程 2024年度生

科目群		卒業に必要な単位数
共通	必修	7単位
	選択必修	8単位
	選択	7単位以上
計		22単位以上

- 必修科目7単位履修すること
- 選択必修科目8単位履修すること。6単位を超えた分は選択科目の単位となる。
- 選択科目7単位以上履修すること
- 合計22単位以上履修すること

▶履修期欄に「前・後」と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

科目区分	授業科目	単位数			授業形態	履修期	配当年次	備考	身につく力														
		必修	選択必修	選択					①…重要な目的としている	②…重要な目的としている	③…重要な目的としている	④…重要な目的としている	⑤…重要な目的としている	⑥…重要な目的としている	⑦…重要な目的としている	⑧…重要な目的としている	⑨…重要な目的としている	⑩…重要な目的としている					
ゼミナール	入門ゼミナール	2			講義	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	前・後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	課題解決ゼミナール			2	演習	前・後	2・3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	総合ゼミナール			2	演習	前・後	3・4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
総合	地域で学ぶ			2	講義	前・後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域と人間生活			2	講義	前・後	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人間関係とコミュニケーション			2	講義	後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人間理解ワークショップ			2	講義	前・後	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	総合科目			2	講義	前・後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人間	自主社会活動			1	演習	前・後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	キャリアデザインとライフプラン	2			講義	前・後	1	5科目から1科目2単位以上履修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	リーガルテラシー	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ジェンダーリテラシー	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	子育てと環境	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	女性と健康	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	女性の心と身体			2	講義	前・後	1-2-3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食の科学			2	講義	前・後	2-3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歴史のなかの女性			2	講義	前・後	2-3	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
社会	芸術を読みとる			2	講義	前・後	2-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	グローバル社会	2			講義	前・後	1	5科目から1科目2単位以上履修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ネットワーク社会	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	共生社会入門	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	多様性と倫理	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	持続可能な社会	2			講義	前・後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
くらしのなかの日本国憲法			2	講義	前・後	1-2-3	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
体育	ボランティア論			2	講義	前・後	1-2-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	災害と社会			2	講義	前・後	2-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21世紀型の教育			2	講義	前・後	2-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
保健	身体運動Ⅰ			1	実技	前	1-2-3-4	2科目から1科目を選択必修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	身体運動Ⅱ			1	実技	後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ICT サイエ ンスエ	はじめてのデータサイエンス	2			講義	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	情報処理演習Ⅰ			1	演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	情報処理演習Ⅱ			1	演習	後	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外国語(基礎科目)	英語コミュニケーション演習	1			演習	前・後	1	12科目から1科目を選択必修 ただし、日本語を母国語としない者は、「総合日本語Ⅰa」「総合日本語Ⅰb」を履修すること 教員免許取得希望者は、「英語Ⅰa」「英語Ⅰb」「中国語Ⅰa」「中国語Ⅰb」「朝鮮語Ⅰa」「朝鮮語Ⅰb」「フランス語Ⅰa」「フランス語Ⅰb」のいずれか2科目2単位を履修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語Ⅰa			1	演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語Ⅰb			1	演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語Ⅱa			1	演習	前	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語Ⅱb			1	演習	後	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅰa			1	演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅰb			1	演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅱa			1	演習	前	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅱb			1	演習	後	2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	朝鮮語Ⅰa			1	演習	前	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	朝鮮語Ⅰb			1	演習	後	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス語Ⅰa			1	演習	前	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
フランス語Ⅰb			1	演習	後	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
海外語学研修			1	実習	前	1-2-3-4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

科目区分	授業科目	単位数			授業形態	履修期	配当年次	備考	身につく力 (◎…重要な目的としている ○…主な目的としている)													
		必修	選択必修	選択					把握・資料探索	資料読解・問題解決への模索・省察	自己課題発見・解決の課題追究	資料収集・資料分析	対話的検討・自力解決・協働的学習	協働的探究・協働的解決(の得たこと)	分析・協働的考察	協働的資料収集・活用・課題解決	実態把握・資料活用	プレゼンテーション力	実態と背景の把握	社会的課題の抽出・解決策の検討・協働的実践的解決		
外国語目的別科目	実践英語 a			1	演習	前	2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	実践英語 b			1	演習	後	2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	アドバンスト・リスニング			2	講義	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	アドバンスト・リーディング			2	講義	前・後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	アドバンスト・ライティング			2	講義	前・後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	ビジネス英語			2	講義	後	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	映画・ドラマ英語			2	講義	前	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	メディア英語			2	講義	前	2・3・4		◎	◎		◎	◎		◎							
	TOEIC対策講座			2	講義	後	1・2・3・4		◎	◎												
	中国語試験対策講座			2	講義	前	1・2・3・4															
日本語検定対策講座			2	講義	前・後	1・2・3・4																
日本語(非母語者向)	総合日本語 I a			1	演習	前	1	※日本語を母国語としない者は、「総合日本語 I a」「総合日本語 I b」を履修すること。ただし、JLPTN1を取得している(なければ模擬試験)、かつ、教員が実施する課題をもって話す能力と書く能力がCEFRのC2レベルであると判断された者は、他の外国語を選択することができる。	◎	◎		◎	◎									
	総合日本語 I b			1	演習	後	1		◎	◎		◎	◎									
	総合日本語 II a			1	演習	前	2		◎	◎		◎	◎									
	総合日本語 II b			1	演習	後	2		◎	◎		◎	◎									
	総合日本語 III a			1	演習	前	3・4		◎	◎		◎	◎									
	総合日本語 III b			1	演習	後	3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語表現技術 I			1	演習	前	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語表現技術 II			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語表現技術 III			1	演習	前	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語表現技術 IV			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 A (時事 I)			1	演習	前	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 B (時事 II)			1	演習	前	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 C (ビジネス I)			1	演習	前	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 D (ビジネス II)			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 E (医療・福祉専門)			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
	日本語研究 F (人文科学)			1	演習	後	1・2・3・4		◎	◎		◎	◎									
日本語能力試験対策講座 I			1	演習	前	1・2・3・4																
日本語能力試験対策講座 II			1	演習	後	1・2・3・4																
日本語集中講座			1	演習	前	1・2・3・4																
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2			講義	後	2	8科目15単位の中から2単位以上選択必修		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	キャリアロールモデル研究	2			講義	後	2															
	企業に学ぶキャリアデザイン	2			講義	前	2															
	プロアクティブ人材育成	2			講義	後	2															
	キャリアサポート演習	2			演習	通	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	キャリア基礎力 I	2			講義	前	2・3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	キャリア基礎力 II	2			講義	後	2・3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	インターンシップ短期	1			実習	前・後	1・2・3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
インターンシップ長期	2			実習	前・後	1・2・3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			

- I 学修
- II 資格取得
- III 人間生活
- IV 教育人文
- V デザイン学部
- VI 教職課程
- VII 諸課程
- VIII 単位認定
- IX 他大学との単位互換
- X 大学院
- XI 施設
- XII Q & A
- XIII 教務関連
- 学びのハンドブック

令和6年度
2024

共通科目『総合科目』について

総合科目は、経験豊富な担当教員、または学外の企業、団体、有志などの協力を得て、特定の題目、特に社会の動向と連動するような課題や問題を取り上げます。授業では特定の専門分野に限ることなく、共通科目が扱う領域を総合的に、かつ自由に、創意的に展開される科目です。

総合科目は様々な講座が開講されています。下記の一覧を参照ください。

(履修登録画面には「総合科目(登録上の科目名)」という形で表示されています。

- ① 受講したい学生は、前期または後期の履修登録期間内に UNIVERSAL PASSPORT にて履修登録してください。過去に「総合科目」を履修した学生は、同じ「登録上の科目名」の授業を繰り返し受講することはできません。
- ② 詳しい講義内容は、UNIVERSAL PASSPORT のシラバスで確認してください。学外での活動を含む講義もあります。
- ③ 授業によって人数制限を設ける場合があります。受講を希望する場合は初回の授業に出席してください。

開講曜時		登録上の科目名 表示名:「総合科目(登録上の科目名)」	担当教員	対象学年	備考
前期 後期	集中	はじめてのデータサイエンス	安達 一寿 中村健太郎	2・3・4	過去2年間(2022・2023)開講 ※2024入学生・共通科目「ICT・データサイエンス」領域の「はじめてのデータサイエンス」と同時開講のため、1年生は受講できません。
	月4	技術が変える私たちの未来	瀬谷崎裕之	1・2・3・4	過去1年間(2023)開講
前期	月5	いちから学ぶ nutrition science (科学的な考え方を学ぼう)	神山 真澄	1・2・3・4	過去2年間(2022・2023) ※2022年度に「いちから学ぶ nutrition science」を受講した学生は履修できません。
	火1	和食文化概論	土井 善晴 (伊藤 美穂)	1・2・3・4	過去5年間(2019~2023)開講
	水1		土井 善晴 (草野 美保)		
	火4	家族とライフステージ論 (未来の家族とキャリア形成)	狩野 浩二	1・2・3・4	過去1年間(2023)開講
	金4	「たちかひ塾」たちかひある人になる	綿井 雅康 安達 満	1・2・3・4	新規科目
後期	月4	ニュースを考える (ウクライナ戦争からアイドル問題まで)	大石 裕	1・2・3・4	新規科目
後期	火3	「なりたい自分になる授業 2024」	石山 隆之	1・2・3・4	新規科目
	水3	金融リテラシー	松本 晃子	1・2・3・4	新規科目 ※社会情報デザイン学科2・3・4年開講科目と同時開講のため、社テ2・3・4年生は受講できません。
	金3	中山間地域に学ぶ (ヒトと食と暮らし)	狩野 浩二	1・2・3・4	過去4年間(2018~2021)開講

お問い合わせ先: 各担当教員 または 教務部教務課

令和6年度
2024

共通科目『総合科目』について

総合科目は、経験豊富な担当教員、または学外の企業、団体、有志などの協力を得て、特定の題目、特に社会の動向と連動するような課題や問題を取り上げます。授業では特定の専門分野に限ることなく、共通科目が扱う領域を総合的に、かつ自由に、創意的に展開される科目です。

総合科目は様々な講座が開講されています。下記の一覧を参照ください。

(履修登録画面には「総合科目 (登録上の科目名)」という形で表示されています。

- ① 受講したい学生は、前期または後期の履修登録期間内に UNIVERSAL PASSPORT にて履修登録してください。過去に「総合科目」を履修した学生は、同じ「登録上の科目名」の授業を繰り返し受講することはできません。
- ② 詳しい講義内容は、UNIVERSAL PASSPORT のシラバスで確認してください。学外での活動を含む講義もあります。
- ③ 授業によって人数制限を設ける場合があります。受講を希望する場合は初回の授業に出席してください。

開講曜時		登録上の科目名 表示名:「総合科目 (登録上の科目名)」	担当教員	対象学年	備考
前期 後期	集中	はじめてのデータサイエンス	安達 一寿 中村健太郎	2・3・4	過去2年間(2022・2023)開講 ※2024入学生・共通科目「ICT・データサイエンス」領域の「はじめてのデータサイエンス」と同時開講のため、1年生は受講できません。
後期	月4	ニュースを考える (ウクライナ戦争からアイドル問題まで)	大石 裕	1・2・3・4	新規科目
	火3	「なりたい自分になる授業 2024」	石山 隆之	1・2・3・4	新規科目
	水3	金融リテラシー	松本 晃子	1・2・3・4	新規科目 ※社会情報デザイン学科2・3・4年開講科目と同時開講のため、社デ2・3・4年生は受講できません。
	金4	中山間地域に学ぶ(ヒトと食と暮らし)	狩野 浩二	1・2・3・4	過去4年間(2018~2021)開講



お問い合わせ先: 各担当教員 または 教務部教務課

総合科目（はじめてのデータサイエンス）

—デジタル社会で必要となるAI・データサイエンスに関する基礎的な知識を習得し、
日常や仕事で使いこなすことが出来るようになる—

データサイエンスをはじめて学ぶ人に最適な講座です。
履修していない人は、是非、受講しましょう！！

世の中には膨大なデータが存在し、それらのデータを必要な形式で収集、傾向などを分析、日常やビジネスでの課題解決に活用されています。

これからの社会では、文系・理系関係なく、大学生のうちに、AI・データサイエンスの知識・スキルを学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろばん）を身に付けておく必要があります。**就職活動の際にもこれらの知識は必要です。**ぜひ、皆さん履修し、理解を深めましょう。

【科目の特徴】

▼データサイエンス・AIについての入門科目

▼2～4年生（**前期・後期**） ※前期/後期それぞれ最大500名まで。

（2024年度から、1年生は「はじめてのデータサイエンス」として必修化）

▼e-Learningを活用したフルオンデマンド型の授業、受講する曜日・時間は自ら計画を立てて受講できます！（土日、夜でも受講可能！！）

▼就職活動や今後のキャリアに役立つ知識を学ぶことができる！

▼最近起きたAI、データサイエンス関連のTOPICも掲載。

▼履修希望者は、必ず履修登録をしてください。（前・後期とも集中欄）

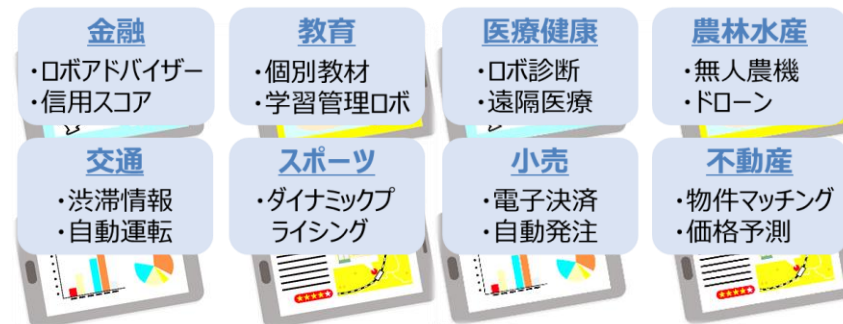
【2023年度 受講者の感想】

- ・今まで知らなかったデータサイエンスのこと、AIのことを知ることができて、とても有意義だった。
- ・自分で好きな時間に勉強できてやりやすかった。（最終アンケートより）

お問合せ先：教務部教務課（7号館2階）
kyoumu@jumonji-u.ac.jp/048-477-0929

「AI」や「データ」が、日常やビジネスで活用されていることを知っていますか？

＜「AI」や「データ」が活用されている一例＞



説明会開催のお知らせ

日時 4月10日（水）12:15～12:45

参加方法 733教室/Live配信

※Live配信の詳細は、UNIPAmailでご案内します。

※担当教員によるわかりやすい説明付き。

データサイエンスやAIを学ぶのは、大学生の常識！！
質疑応答の時間もあります！

総合科目（はじめてのデータサイエンス）

ーデジタル社会で必要となるAI・データサイエンスに関する基礎的な知識を習得し、
日常や仕事で使いこなすことが出来るようになるうー

データサイエンスをはじめて学ぶ人
に最適な講座です。

履修していない人は、是非、受講し
ましょう!!(4年生はラストチャンス)

世の中には膨大なデータが存在し、それらのデータを必要な形式で収集、
傾向などを分析、日常やビジネスでの課題解決に活用されています。

これからの社会では、文系・理系関係なく、大学生のうちに、AI・データ
サイエンスの知識・スキルを学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろ
ばん）を身に付けておく必要があります。**就職活動の際にもこれらの知識
は必要です。**ぜひ、皆さん履修し、理解を深めましょう。

【科目の特徴】

▼データサイエンス・AIについての入門科目

▼全学部対象2~4年生 ※前期/後期それぞれ最大500名まで

2024年度1年生は全員必修で受けています。学んでいて当たり前時代に!

▼e-Learningを活用した**フルオンデマンド型の授業**

▼**受講する曜日・時限は決まっていません。自ら計画を立てて受講。**

▼就職活動や今後のキャリアに役立つ知識を学ぶことができる!

▼最近起きたAI、データサイエンス関連のTOPICも掲載。

▼**単位が取得できれば、マイステップ「資格取得状況」で**

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)(仮称)」

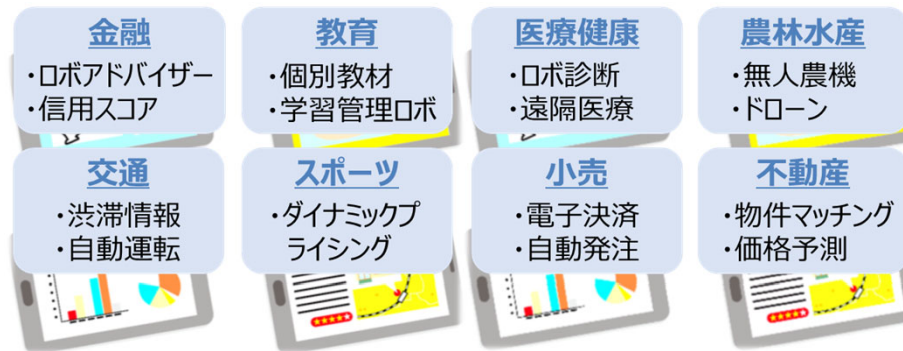
を登録することができます!!(令和5年度取得者から)

お問合せ先:教務部教務課(7号館2階)

kyoumu@jumonji-u.ac.jp/048-477-0929

「AI」や「データ」が、日常やビジネスで 活用されていることを知っていますか?

＜「AI」や「データ」が活用されている一例＞



はじめはデータサイエンスとはどんなこ
となのか、理解できていなかったが講義
を通してデータサイエンスについて最新
の情報、これからのデータ・AIとの付き
合い方について考えることができた。
(2023年度後期受講者の感想)

とても受けやすい授業だと感じた。
内容も今後活かしていきたいと
思えるもので、満足している。
(2023年度後期受講者の感想)

**履修希望者は、必ず履
修登録をしてください。
(前・後期とも集中欄)**